




FTR - Flight Test Report

Dieser Prüfbericht darf ohne schriftliche Zustimmung der EAPR nicht, auch nicht auszugsweise, veröffentlicht werden.

メーカー	 AIRDESIGN GmbH Rhoenbergrstraße 9 A-6367 Absam	Type testing No.	EAPR-GS-0651/17
		シリアルナンバー	proto
モデル	Rise 3 XXS	場所	Brauneck
コメント			Gardasee



Rev. 2.3 - 26.11.2014
 EAPR GmbH - Marktstr. 11
 D-87730 Bad Grönenbach - Germany

テスト実施日	31.07.2017	最小搭載重量 kg		最大搭載重量 72 kg	
テストパイロット		Sepp Bauer		Mike Kung	
ハーネス		EAPR- Lightequipment		EAPR-Testequipment	
搭載重量		62 kg		72 kg	

クラス	B
-----	---



評価基準	最小搭載重量	評価	最大搭載重量	評価
1. インフレーション / テイクオフ - 4.4.1				
ライズアップの傾向	スムーズで、簡単で一様なライズアップ。パイロットによる補正は必要ない。	A	スムーズで、簡単で一様なライズアップ。パイロットによる補正は必要ない。	A
特別なテイクオフ技術の必要性	No	A	No	A
2. ランディング - 4.4.2				
特別なランディング技術の必要性	No	A	No	A
3. 直線飛行時の飛行速度 - 4.4.3				
トリムスピードが30km/h以上	Yes	A	Yes	A
ブレイクコードのみでの飛行範囲が10km/h以上	Yes	A	Yes	A
ミニマム速度	25 km/hから30 km/h	B	25 km/hから30 km/h	B
4. ブレイクコードの操作性 - 4.4.4				
最大搭載重量が80kgまでのもの	徐々に重くなる > 55cm	A	徐々に重くなる > 55cm	A
最大搭載重量が80-100kg		-		-
最大搭載重量が100kg以上		-		-
5. アクセレーターを開放した際のピッチ方向の安定性 - 4.4.5				
前方へのダイブ角	前方へ30°以下のダイブ	A	前方へ30°以下のダイブ	A
翼の濡れ現象	No	A	No	A
6. アクセレーター使用時に、ブレイクコードを使用した場合のピッチ方向の安定性 - 4.4.6				
翼の濡れ現象	No	A	No	A
7. ロール方向の安定性、減衰 - 4.4.7				
揺れ幅	減衰する	A	減衰する	A
8. 一般的なスパイラルの挙動 - 4.4.8				
直線飛行へ戻る傾向	自然に戻る	A	自然に戻る	A
9. 後方でぐずつく - 4.4.9				
Initial response of glider (first 180°)	すぐではない。リアクション。	B	すぐではない。リアクション。	B
直線飛行へ戻る傾向	自動的に戻る	A	自動的に戻る	A
直線飛行までに要する角度	720° から1080°で自動的に	B	720°以下で自動的に	A
10. フロントコラップス - 4.4.10				
Folding lines used	No		No	
導入	45°未満後方に落ちる	A	45°未満後方に落ちる	A
回復	3秒未満で自動的に回復	A	3秒未満で自動的に回復	A
前方へのダイブ角	30° - 60° コース維持	B	30° - 60° コース維持	B
カスケードの発生	No	A	No	A
導入	45°未満後方に落ちる	A	45°未満後方に落ちる	A
回復	3秒未満で自動的に回復	A	3秒未満で自動的に回復	A
前方へのダイブ角	30° - 60° コース維持	B	30° - 60° 90°未満の方位変化	B
カスケードの発生	No	A	No	A
導入	45°未満後方に落ちる	A	45°未満後方に落ちる	A
回復	3秒未満で自動的に回復	A	3秒未満で自動的に回復	A
前方へのダイブ角	30° - 60° コース維持	B	30° - 60° 90°未満の方位変化	B
カスケードの発生	No	A	No	A
11. ディープストールからの回復 - 4.4.11				
ディープストールが起こる	Yes		Yes	
回復	3秒未満で自動的に回復	A	3秒未満で自動的に回復	A
前方へのダイブ角	0° - 30°	A	30° - 60°	B
方位の変化	45°未満のコース変化	A	45°未満のコース変化	A
カスケードの発生	No	A	No	A

12. 大きな迎え角からの回復 - 4.4.12										
回復	3秒未満で自動的に回復			A	3秒未満で自動的に回復		A			
カスケードの発生	No			A	No		A			
13. フルストールからの回復 - 4.4.13										
前方へのダイブ角	0° - 30°			A	30° - 60°		B			
潰れ	潰れなし			A	潰れなし		A			
カスケードの発生 (潰れ以外の)	No			A	No		A			
後方への落ち込み	45°未満			A	45°未満		A			
ラインテンション	ほとんどのラインが張っている			A	ほとんどのラインが張っている		A			
14. 左右非対称の潰れ (トリムスピード) - 4.4.14										
Folding lines used										
No										
回復までに必要な方位の変化	< 90°			ダイブ角やロール角	0° - 15°	A	< 90°	ダイブ角やロール角	15° - 45°	A
翼の空気のはらみ方	自然に回復			A			自然に回復			A
方位の変化	360°未満			A			360°未満			A
反対の翼の潰れ	No			A			No			A
ツイストの発生	No			A			No			A
カスケードの発生	No			A			No			A
回復までに必要な方位の変化	< 90°			ダイブ角やロール角	15° - 45°	A	90° - 180°	ダイブ角やロール角	15° - 45°	B
翼の空気のはらみ方	自然に回復			A			自然に回復			A
方位の変化	360°未満			A			360°未満			A
反対の翼の潰れ	No			A			No			A
ツイストの発生	No			A			No			A
カスケードの発生	No			A			No			A
回復までに必要な方位の変化	< 90°			ダイブ角やロール角	15° - 45°	A	< 90°	ダイブ角やロール角	15° - 45°	A
翼の空気のはらみ方	自然に回復			A			自然に回復			A
方位の変化	360°未満			A			360°未満			A
反対の翼の潰れ	No			A			No			A
ツイストの発生	No			A			No			A
カスケードの発生	No			A			No			A
回復までに必要な方位の変化	90° - 180°			ダイブ角やロール角	15° - 45°	B	90° - 180°	ダイブ角やロール角	15° - 45°	B
翼の空気のはらみ方	自然に回復			A			自然に回復			A
方位の変化	360°未満			A			360°未満			A
反対の翼の潰れ	No			A			No			A
ツイストの発生	No			A			No			A
カスケードの発生	No			A			No			A
15. 左右非対称の潰れでの方位コントロール - 4.4.15										
コースを維持できる	Yes			A			Yes			A
10秒以内に180度の方位変化が起こせる	Yes			A			Yes			A
失速またはスピンに入るまでのコントロールの引く量	左右対称失速ポジションの50%以上			A			左右対称失速ポジションの50%以上			A
16. トリムスピードからのスピンの傾向 - 4.4.16										
スピンの発生	No			A			No			A
17. 遅い速度からのスピンの傾向 - 4.4.17										
スピンの発生	No			A			No			A
18. 完全なスピンからの回復 - 4.4.18										
リリース後のスピンの継続	90°以内で停止			A			90°以内で停止			A
カスケードの発生	No			A			No			A
19. B-ストール - 4.4.19										
リリースまでの方位の変化	45°未満のコース変化			A			45°未満のコース変化			A
リリース前の挙動	スパン方向にストレートで安定している			A			スパン方向にストレートで安定している			A
回復	3秒未満で自動的に回復			A			3秒未満で自動的に回復			A
前方へのダイブ角	0° - 30°			A			30° - 60°			A
カスケードの発生	No			A			No			A
20. ビッグイヤー - 4.4.20										
導入手順	一般的なテクニック			A			一般的なテクニック			A
ビッグイヤー中の挙動	安定した飛行			A			安定した飛行			A
回復	3秒未満で自動的に回復			A			3-5秒で自動的に回復			B
前方へのダイブ角	0° - 30°			A			0° bis 30°			A
21. アクセレーターを使用してのビッグイヤー - 4.4.21										
導入手順	一般的なテクニック			A			一般的なテクニック			A
ビッグイヤー中の挙動	安定した飛行			A			安定した飛行			A
回復	3秒未満で自動的に回復			A			3秒未満で自動的に回復			A
前方へのダイブ角	0° - 30°			A			0° bis 30°			A
ビッグイヤーを保ったままアクセレーターを戻した後の挙動	安定した飛行			A			安定した飛行			A
23. 通常のコントロールが使用不能となった場合の操作 - 4.4.22										
180°旋回を20秒以内で完了	Yes			A			Yes			A
ストールやスピンの発生	No			A			No			A
23. 通常飛行の方法や通常飛行に戻る方法 / マニュアルに記載されていることが正しいかどうか - 4.4.23										
方法が記載されている通り正しいか				NA						NA
パイロットレベルに合った方法				NA						NA
カスケードの発生				NA						NA
24. テストパイロットが気づいたこと:										